

令和5年度 第5学年 授業改善推進プラン

台東区立金曾木小学校

1 児童・生徒の状況及び実態を踏まえた課題

国語	学力調査の結果、文章の読み取り正答率6割、話の内容を正しく聞き取って考えを記述する問題の正答率4割、自分の思いや考えを明確にして、条件に合わせて文章を書く問題の正答率4割、修飾語などの言葉の意味理解は、4～5割の正答率だった。
社会	学力調査の結果、資料を正しく読み取り、資料から分かることを表現する問題の正答率3割。日常生活の中で、学習内容と生活を関連付けようとする態度が見られない児童が少なくない。
算数	学力調査の結果、問題を正しく捉えて説明する問題の正答率が3割5分、式や図を用いて自分の考えを説明する問題の正答率は4割だった。
理科	学力調査の結果、必要な用語を適切に使って表現する問題と、問題解決の方法を考えたり結果から考察したりする問題の正答率がどちらも3～4割だった。

2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を正しく選択しながら受けとめ、適切に伝え合う力。 言葉に興味をもって進んで語彙を増やし、正しく理解して使える力。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日音読の課題を出し、国語や他教科の授業で声に出して読む機会を多く設定する。 週1回テーマ作文を書かせ、書くことに慣れさせるとともに楽しさを味わわせる。 日常的に国語辞典を手元に置かせ、語彙を増やす機会を多く設定する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 資料を取捨選択し活用する力。 自分の考えや必要な情報をまとめて表現する力。 学習内容を日常生活と結び付けて考えることができる力。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の読み取り方や分かることを共有する機会を増やし、理解を深める。 資料から得た情報をまとめる機会を多く設定し、情報活用能力を高める。 学習した内容を他教科や生活の中で想起し、結び付けられるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 問題を捉え、正しく立式する力。 自分の考えを説明する力。 	<ul style="list-style-type: none"> 提示されている条件を図や表に整理し、立式する。公式等の言葉の式も覚える。 自力解決の時間を確保し、自分の考えを文章等で説明する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 事象を科学的に捉えて考えたり表現したりする力。 事象から捉えた問題を主体的に解決する力。 	<ul style="list-style-type: none"> 理科に関する用語を正しく理解させ、日常的に使いながら覚える。 理科支援員と連携して、実験や観察の基本的な技能を身に付けさせ、実際に実験や観察をする際に条件制御に着目して解決方法を考えたり結果から考察させたりする時間を充分確保する。